京
50
357
別圖
5 6
(11)
2 1

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』 請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

帝国図書館藏

大正
6. 4. 13
購求

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』 請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

雲林院

裝束之覽

初ニテ面 笑尉 朝倉尉　襟 淺黄　着附 質平目 小格子　水衣 フトジケ

腰帯 ドンス　扇子 スミエ

後ニテ面 中將　襟 白　着附 白練　指貫 大口

狩衣 ヒトエ　腰帯 縫ナシ　シシノ太口　冠 エイ ヲイカケ

扇子 ヒノ紅

女ノ舞三段ヲロシ

● 三段ヲロシ男ヱヘ融ノ通リ右フミコミ右ノ手上ケ袖ヒク融同様ナリ委キ事ハ日吉融ノトコロニテ可見

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

つゝやうろう金月くんぎをもやうろう乃
取れ一時とゞ千金ゝかゑしゝゝ花
ゝ清香月ゝ景ゝ顆萬累乃玉
しわも寶ゝ思ふ花とゝ
まハひまし　第ゝ光八御祖わ
花おいもあ久なまハ人うゝ花を
ちひゝゝを　きゝゝうきゝして
張ゝゝゝ動をハゝしゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

サシテ角ヘ行

角ニテカザシ左ヘタシラリ右ヘチエテ角ノヒラ見

下ヲ見スル目ヲ下ヘトリハラノ内ヨリ（ソラミル心前ノヲツルヲミルミアラ

ズ向内ヘトル ノ意ナリ 左ヘロリ

大ゼノ前ニテ正ヘ向ハラフノバシ夫ヨリ内ヘトリザクロリシホくトス心持ヲフクンテロル

左右

雲林院

装束之覚

初シテ　面　笑扇　朝倉扇　襟　淺黄　着附　壁ヲ目　小格子

水衣　フトジケ　腰帯　ドンス　扇子　スミヱ

後シテ　面　中将　襟　白　着附　白練　冠　エイ　ヲイカケ

指貫　大口　狩衣　ヒトヱ　腰帯　縫ナシ　扇子　ベニ　紅

シンノ太刀

女ノ靠三段ヲ召シ

●三段ヲ召シ男ヱ融ノ通リ右フミコミ右ノ手上ケ袖ヘ

ク融同様ナリ委キ事ハ日吉融ノトコロニテ可見

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

仕舞

立

・三月やまと育・高砂

正面ヘ出

ハノビ、キヨリ左ヲフミヒラキ左ヲ引ケ左ヘコシヲノセ右ヘアシムヤヌイフミ右ヲコシヤラリ上ヒテ出ミ右ヘ少ク出ル アノンデアルヤヌヤフミ天勾ニ〻リ合テヒル一通リミナ右ノ口タ下リヒツミタカルモノナリ気ヲ付テテヒツミメヤヒラキ

ミス〻シ

なむ〻わら万国まゐりうの御〻照う

左ノ足右ヘアケ正面ヘ右左ト行ヤリ左ノコシヌ

左ヲフミヒラキサラクトサシ

ハラノバシニル ノビテ角ヘ行

ぱら添し花の数はりるゆくた川と〇うら

角トリ

海り・うつる京をりみちかゝ孫・世界のむ

左ヘハリ

正面ヘヒラキ

三日月ヲ見ヘ向ヒラキ

辺ヲテ上ヨリ ハカヒラ見

とりとゝ御の夜稽ちかゝるまれ花ら

南ヘ出シ左右ト正 三足ツメル

左ノチヲテハカ ミラデモテ

左向角ヒラキ

大左右メ出

左ヲ辺ヒラキナカラ 右ノチ右ノ下ヘリ

うく 住吉海や月の京古けるを賊を

ズツカリト休ヨリリ 上ヲ右ノチ高ク上ケ

辺上ヲスル休ヲハラヨリ下ヘサケ 自然ニ角ヲカシラ ブセ

のう京の花りとをうりのうたら

左ノ足右ヘカケ右ヘ向 ナカラ面下ヘトリ左ノ コシヘヨメヘリ付テ右

三三足下リナカラノビテチヲヒロケ 身ヲ口ヘ後ロヨリ辺立テ面ヲシ下 ヘトリシテノ心ヲ右ヘ出リ

うゝき春の出もや二月のなそれ月

合ヲ見セテ一通リ目テ見テ夫ヨリ心カラ 入テ見左ナケハメケル

ハラハヨリ ノビテ見ヘ

角ミテ口サシ左ノヨシ ヲリ右ノチ上ヲ角ノ ビラ見

サシテ角ヘ行

もゝや入て いゝ〻あるゝあふ〻ゝ

下ヲ見ス目ヲ下ヘトリ ハラノ内ヨリ ヘソラ見ル心面ノヲルヲミルニアフ〻面内 ヘトルノ意ナリ

左ヘ出リ

大ヒノ新ミテ正ヘ向 ハラノバシ夫ヨリ 内ヘトリツク出リシボ〻ト心持 ヲフクシテ出ル

うゝるいるゝるゝと・ちゝ〻〻すゝと

左右

あとゝ〻も迷ひ物

四十七 雲林院

第[illegible]

夜咲[illegible]

と尋ね　ワキ　見ハ津の国芦屋の

里よりの光明寺者にて候　我初句

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蒙りて候　唯人の都よりて

[illegible]

花のあるじを問ふ

[illegible]

月初陽潤て馬の老くゆる時節

暮くもれる雲の秋の月の秋

[illegible]

芦屋の里と立出

[illegible]

西の海塩の煙のこりをしく

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

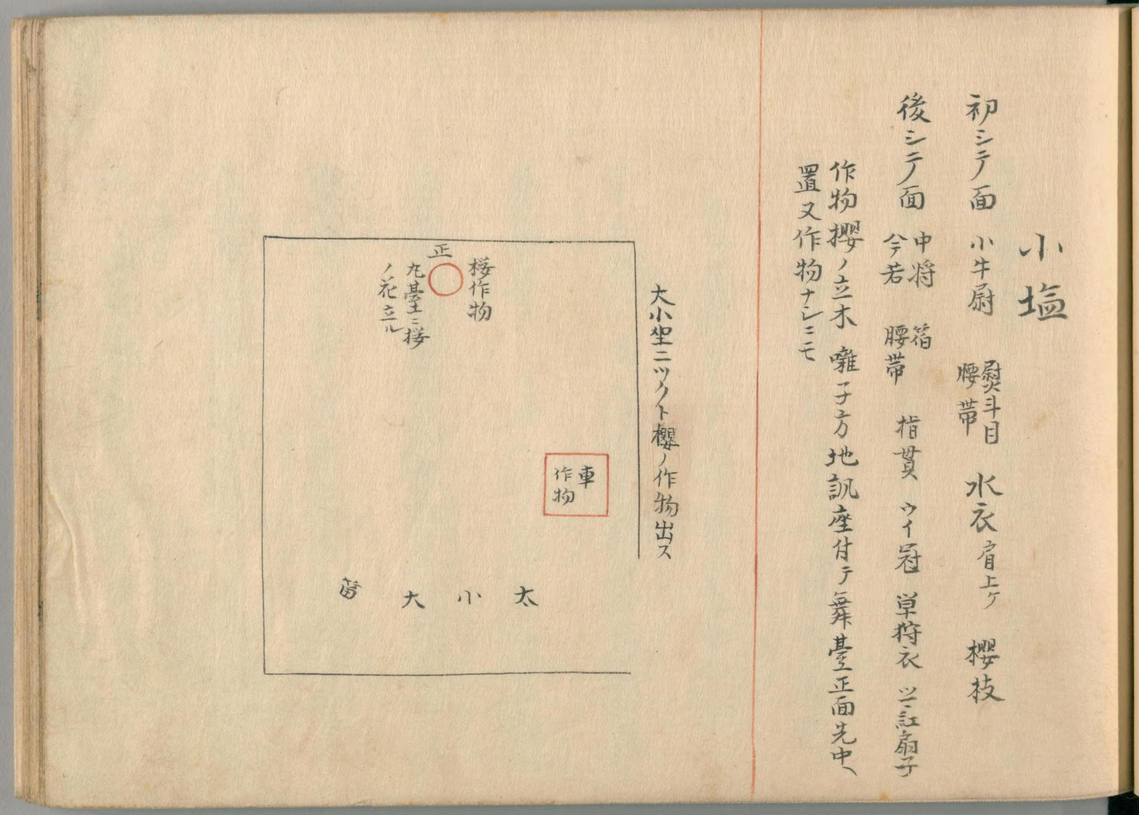
つゝやうの三月ばかりやうの
取れ一時とゞ千金よりかをしとゞ花
よ清香月よ景ゝ顆萬累乃む
しわも寶ゝ思ふ花とゞ
まハひまし　ワキ正　実ゝ色ハ佛理わ
花ハいとわ久なきハ人うゝ花と
あひしわを　ワキ　ツレ　まいをうきさして
張りらゝと動をハゞ
ゝゝゝゝ　ワキ　ツレ　ゝゝ
とゝゝ　ワキ　花もわきさ　ツレ　足ツメル　いけ
上声　正直出　実投とわむ
ゝゝゝゝ　ワキ　ツレ　ツレ　ワキ　ツレ　ツレ　ツレ

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用



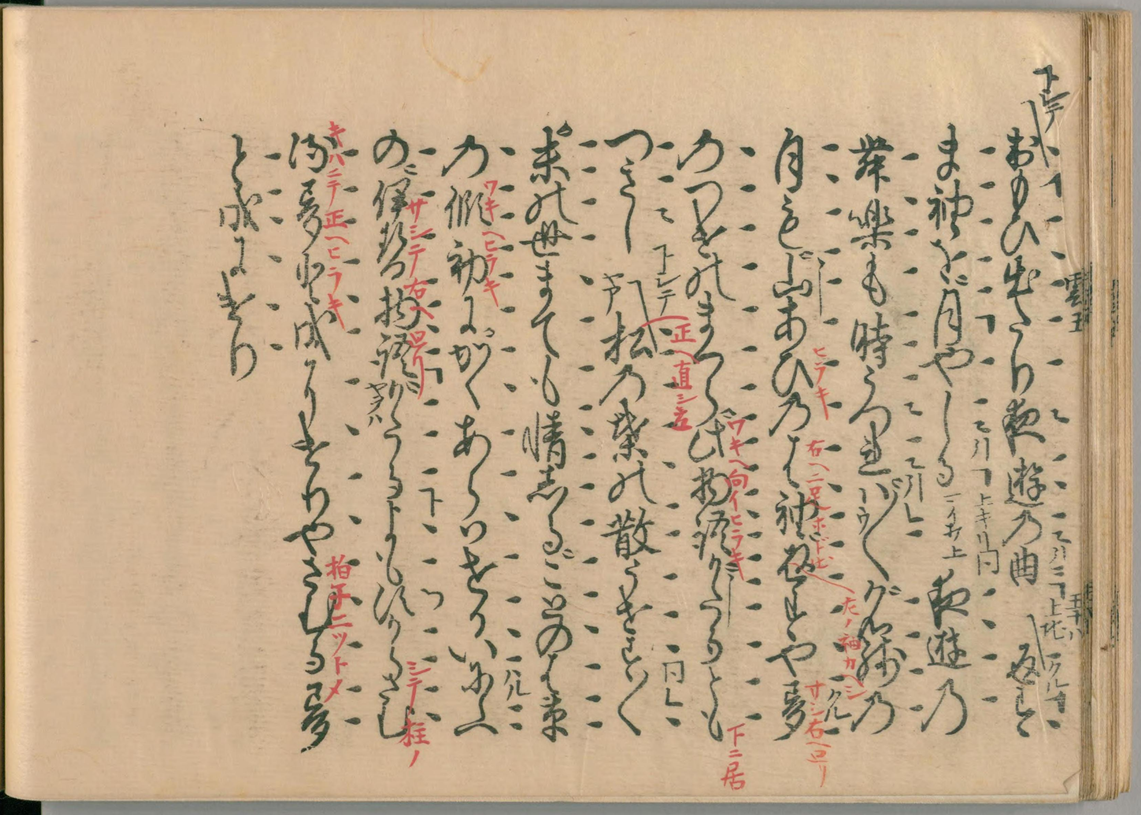
小塩

初シテノ面　小牛尉　熨斗目腰帯　水衣　肩上ケ　櫻枝

後シテノ面　中将　今若　箱腰帯　指貫　ウイ冠　草将衣　ツヽ紅扇ヲ

作物櫻ノ立木　雛ヲ方地訊座付テ舞臺正面先中置又作物ナレトモ

大小型ニツクト櫻ノ作物出ス



シテ舞附

（ニセイニテ櫻ヲタヾ出テシテ柱ノキハニテ足トメ飯）

花ゆゑ〳〵て花を四そ〳〵乃神おろ

（ニセアト〳〵クツロケナガラ杖ノ使ヨロシ）

玄木の乃榮と人やうゑ　（サシ面直シ）　年始きハ

ゝゝひハ花ぬ玄うハあれと花おゝ〳〵ゑ

きハ物あるひもおゝ〳〵と演〳〵も身れ玄

今白重を袁く〳〵て光ゆるあゝ名袁

乃見れ玄宋き所代の時ゆきや　（上ゲ）　散も

花咲も殘〳〵ぬ花さゝゆ〳〵四方の

春〳〵そも一春ふ白ひゝち色ふそよ　（右ウケ）

情れ道ゑ誘ゝて花おゝいゝひそ花ゆ　（右ノ方〳〵左右左ト出）

（返シ三正）

花おゝいゝひそ花ゆ　（ワキ）　ふ〳〵そふ光

後那集の其中ふ殘ゑ年たけゝゝ新

花人花の枝をゆゝ〳〵ゆも花ゆる

ふみゝ殘ふハそも何〳〵ゝ春殘よ

（シテ）　（ワキ）　思ひよゝ〳〵ゑ貴後の中ふ見そて

云葉を如を殘よハゆも白ゆ記山後れ

身ふも意せぬ花すゝそとお學ひ

（正向ク）

ゆるゝ人〳〵よ深〳〵て山のゝ光ゝふ似

なゆとも白ゆ花ゑゆゝハ〳〵て有ゝは　（ワキ向ク）

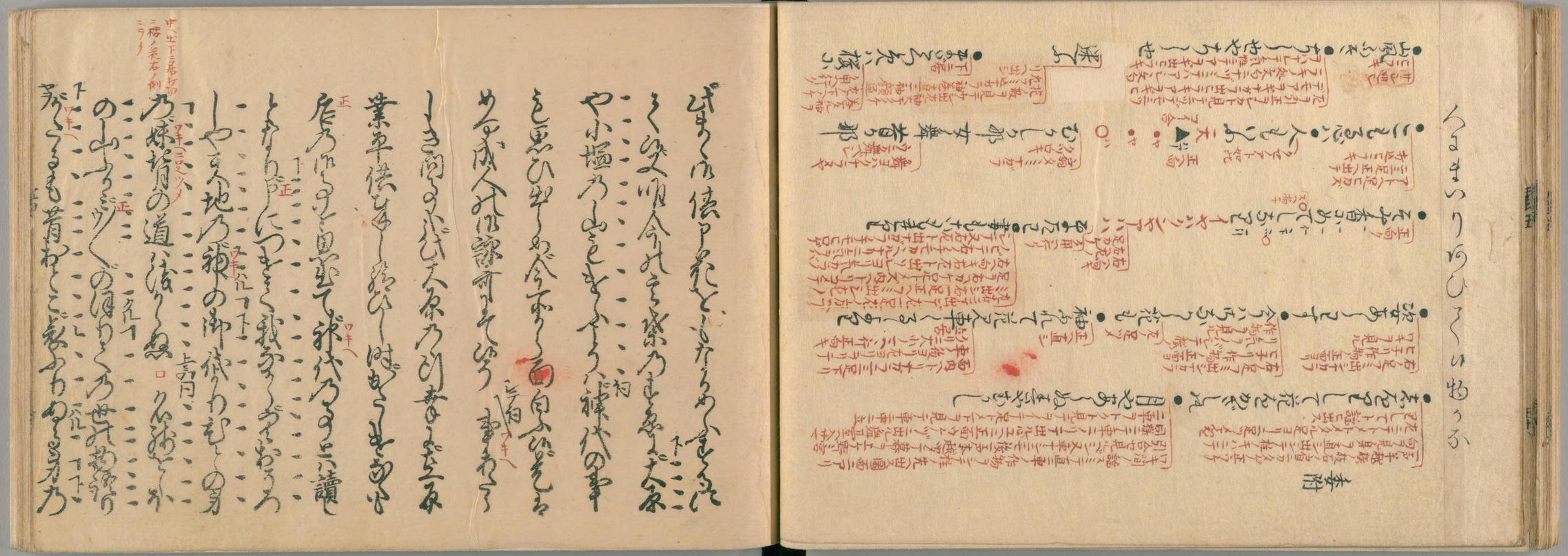
ゆ〳〵ゆんゆゆゆゝふ　（上ゲ）　れゝ〳〵と〳〵て光

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用

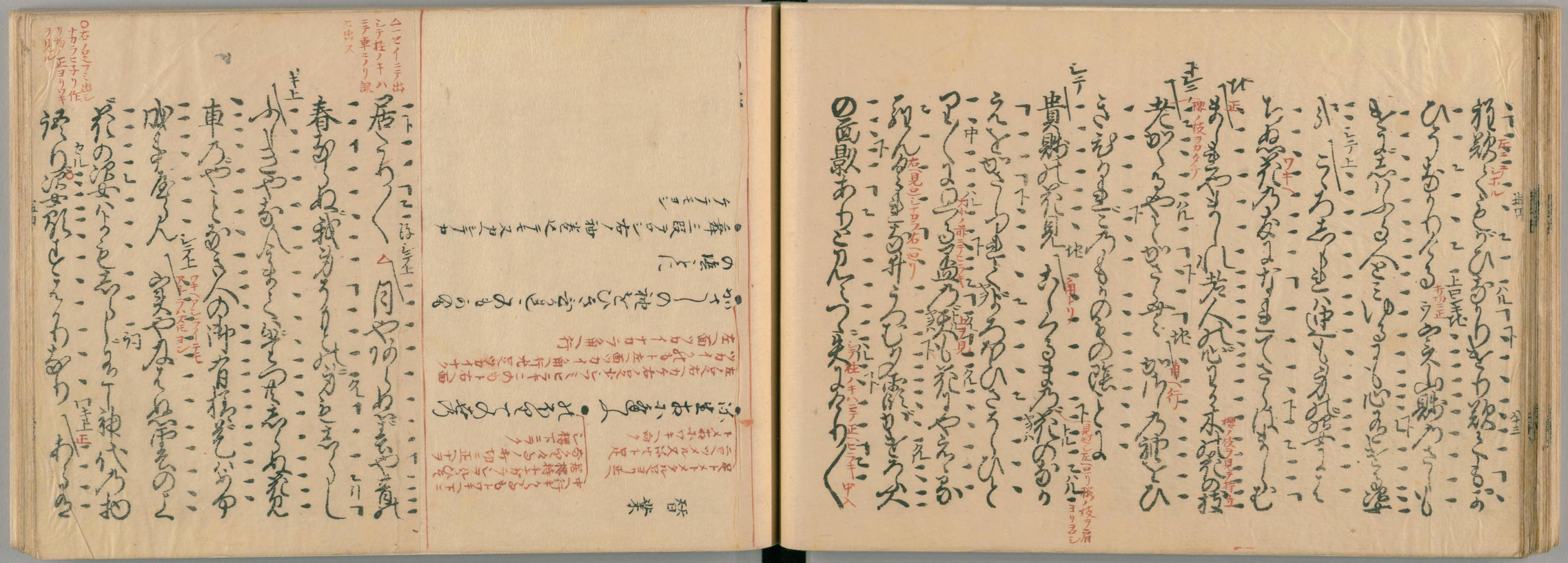
ワキ（向ノワキニヒヒ ソメテモツメスベシ）
四海すこやかよ（正）や世界は末代はい
いてしるやみれ名も香もちる人そ
ちりぬるをとりぬ世なひそ（ワキ向ク）
（ワキ向ク正）何ゝ面白き
たりあれやかよも諸ふは扱立給り
いかに左何る白玉象れ奥床しきを
御覧給へ（シテ内）何ゝ（ワキ向）
及ぶまねくこそをいうゝは思ひ給へ
らん（ワキ出シ）実ゝ（正向ノ）ゆかる指れ色うつ移へ
うけも大事や（シテ内）小塩れ山の小松
うもうゝ燃る霞ぞ遠山さゝ

ら（ワキ出シ）墨もはきそこの家さゝ
（シテ）（ワキ（向キテモムカスベシヨシ）
白のやもとの梅もはき（ワキ）あゝ弥
さびもの紅れ（シテ）（ワキ）かゝ
（シテ）（ワキ）雲ゝ
八重（ワキ）九重の（二足ツメ）（上ヲ正）那遠はるゝ
梯と知ふゝ（石ウケ）橋をわたら
ぬ白とゝ（正直ニ辞ニ出）ゆきまるこ路もそふ
ゝるゝ時も四方自もやうひ（正ヒラキ）ある
（左四リ）ものゝ名ゝ那きに尾大事や
小塩の山もそふそは神代もあるも
（返シヒラキ（向ノ）ワキ（二足ツメテモヨシ））正
ちゝも紅れ〳〵かゝ新面白き

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用



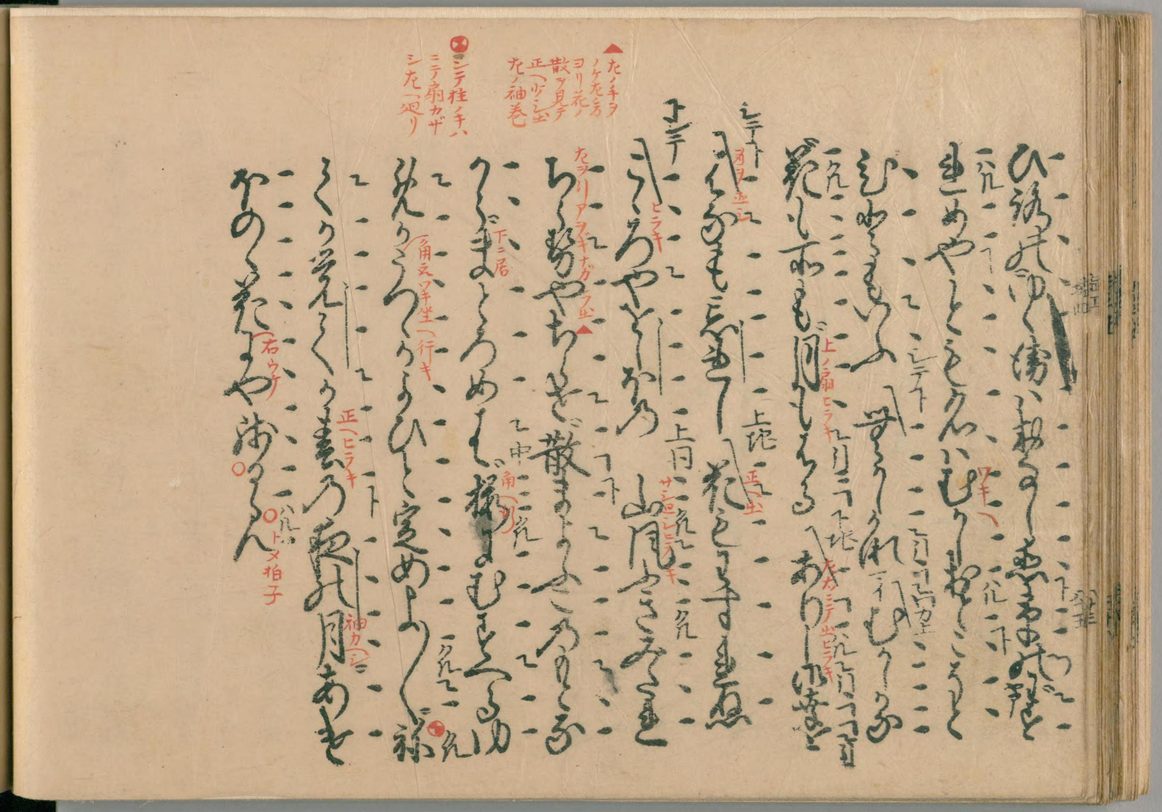
国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用

住吉詣



住吉詣

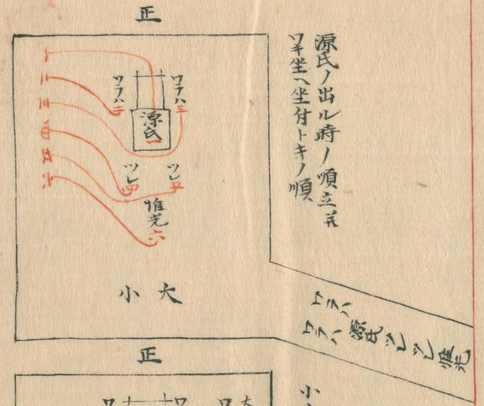
装束之覧

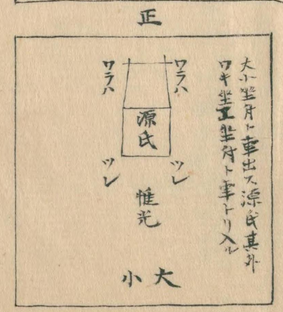
シテ　面小面　着附スリ箔　緋大口　唐織壺折
カツラ　同帯　扇　腰帯

女ソレ　着附箔　唐織　カツラ　同帯　扇
跡ノツレ　同折　カタ袖ヌグ　桙
源氏　指貫　着附白子リ　初冠　扇黒骨　直シ単特ヲ　杏
ツレ　着附厚板　白大口　単特衣　風折　扇　腰帯
子方　ワラハ　長絹　着附箔　白大口　弓矢　ハサラ
扇腰ニサス　腰帯

作リ物車　船江口同折

源氏ノ出ル時ノ順立ヲ
ワキ坐ハ坐付トキノ順

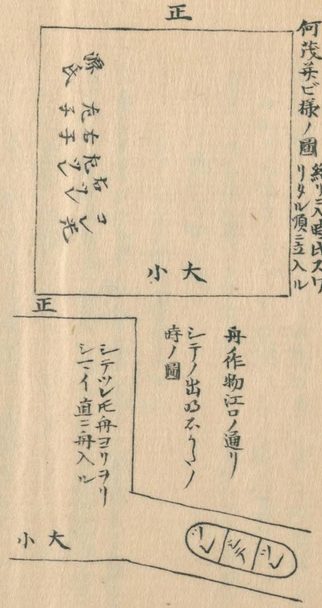




大小坐付ト車出ス源氏其外
ワキ坐ハ坐付ト車ヤリ入ル

小車の時ノ圖

何茂兵ヒ様ノ圖　終リニ入時氏スワリタル順ニ立入ル



舟作物江口ノ通リ
シテノ出ル所ノ圖

シテツレ氏舟ヨリヤリ
シテイ直ニ舟入ル

惟光ノ附

●源氏ノアトヨリ出圖ノ如ク立花詣●浦ゐるあるもノ
返シニミナ一緒ニ地謡ノ前ニ下ニ居●只今の四参詣トワキ謡イ
カケルトワキヘ●応云を参ゝもられゝト謡キリ身ヲ直ス
●いゝゝ応のト源氏コチラヘ向時源氏ヘ向ジギヲメ状主ヘ
トワキヘ向●わふゝゝト正ヘ直シ●花ゐ菜のヘンヨリ立正ヘ二
三足出シテヘ向●玉だもきたヘトリ元ノ坐ヘ行下ニ居●五よろ
ゝ奴ノヘンヨリ扇ヒロゲ酒ヲ持タル様ニメ立シヅカニ正ヘ出
源氏ノ前ニ下ニ居立直ニ立めヒトシテノ前ヘ行下ニ居ツグ
●舞まひうゝ〜シテノ立時立テ直ニ元ノ坐ヘ行下ニ居●終リ
ニ立度ミニ入ル

扇前ニサス

左ノ方ニ立ワラハノ附

源氏ノ先ニ立出圖ノ如ク立花ヒ●大沢め殿ト左ノ手ニ弓矢
一ツニ持下ニ居右ノヒザツキ左ニ持タル弓ヲ下ヘツキ立右ノ手
ニテ車ノナガヘヲラサヘ●源氏ヲリシテイ浦和よゐるれノ

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用

返シヨリ車ノ後ロヨリミナ一緒ニ地謡ノ前ヘ行夫ナリニ寸下ニ居立弓矢下ニヲキ扇持正向トクト下ニ居●わたの扇ヒロゲ酒持タル様ニメ立シツカニワキノ前ヘ行下ニ居ツヾ●今仏ト立シテ柱ノ方ヘ行ナカラ扇タヽミ正ヘ向一樹ト謡イ終ヲ見ト右ヘ廻リハガヽリニ三段ノヽイ三段ノヽイラロシアリ●我又ても上ノ扇●岩の谷め松正ヘヒラキ●武万代大左右手ヒ左ヒラキ●いよ〳〵正ヘ出ヒラキ●万代にトヾキ坐ノ方ヨリサシ廻シハヤシ方ノ方ウケ直ニかの〳〵トヽクノ方ヘ雲ノ扇メ●浦よりふらの元ノ坐ヘ行下ニ居●切リニ源氏ノ立時分ウシロヘ向弓矢初ノ通リ両方ニ持終リニ立段々ニ入ル

右ノ方ニ立ツラハノ附　扇前ニサス

●源氏ノ先ニ立出圖ノ如ク立元ヒ●大江の岩ト右ノ手ニ弓矢一ツニ持下ニ居左ノヒザツキ右ニ持タル弓ヲ下ヘツキ立左ノ手ニテ車ノナガヘヲサヘ●源氏ヨリシテイ浦和に成るモノ返シヨリミナ一所ニ地ノ前ヘ行夫ナリニ寸下ニ居立弓矢下ニヲキ扇持正向トクト下ニ居●切リニ源氏ノ立時分ウシロ向弓矢初ノ通リ両方ニ持終リニ立段々ニ入ル

ツレノ附

●源氏ノアトニ立順々ニ出圖ノ如ク立元ヒ謡●浦和かゝるモノ返シヨリミナ一所ニ地謡ノ前ヘ行下ニ居●終リニ立段ニ入ル

●ツレハ二人ニカギラズ四人ニテモヨシ

前ツレ女ノ附

●シテノ先ニ立一セイニテ出舟ノドウノ間ヨリノリ先ノ間ヘノリ正向●ふなせ〳〵トシテ床机ニカヽル時夫ナリニ下ニ居ル●ふけリト謡スミ立テ松原のトウタフは松原のノ謡ロ

シテ謡ヘバツレ不訓夫ナリニ居●ゑたせきと又下ニ居●荒波の方ヘシテノリルトドウノ間ヘノリウツリ夫ヨリヨリ後見坐ノ前ニ正向下ニ居ル●まこぎくれれてシテ入ル時アトヘツキ入ル

アトツレ女ノ附

●シテノアトニ立一セイニテ出舟ノアトノ間ヘノルト後見掉ヲ持タスたに持正向謡●荒波のト掉シ一寸見掉ヘ右ノ手カケシテモ前ツレモヲリル夫ヨリ直ニ掉ステヲリ前ツレノアトニツキ後見坐ノ前正向下ニ居ル●まこぎくれれてシテ入ル時アトニツキ入ル

源氏ノ附

●一セイニテ出車ノアトヨリノリ圖ノ如ク立ナラビ小車のト謡出ス●吾よりも久て住吉の前ヘヲリワキ坐ヘユキ床机ニカヽル正ウケ居●神ぞなれミナ地謡ノ前ヘユクト車入レル●和光日塵ハ立大小ノ前シヅカニユキ正ヘ向正先ヘ出下ニ居●汝ハ何ふけさるべき礼ヲスル但シ礼ヲスル時左右ト少ク露ヲハライ礼ヲスル露ヲフニハラハズ共ヨシ返シニ立元ノ坐ヘユキ床机ニカヽル●いよ〳〵汝ハ此文ノ礼惟光酒ヲク時扇ヒロゲウケル

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用

シテ舞附

都テ下ニ居ル時大ロナレビキナガシノ通リニマタヲスボメテスワル

●連一人走ニ立其次ニシテ其次ニツレ一人立一セイニテ出圖ノ通リ舟ニノリ正向謠フ●松原の氏処シテ謠フナレバ夫ナリニ謠フツレニ謠ハスレバ前ツレ立ウタフ●荒ものゝ〳〵やゝシ面ヲ下ゲ源氏ノ方ヘ向光ヲ君ト源氏ヲミル●玄たもき正ヘ直ス前悪下ニ居ル●熊波の方ヲ立舟ノ胴ヲ左ニ引リ舞臺ヘ入リシテ柱ノキワニ立正●扨めをゐ〳〵源氏ヘ向静ニ中ヘ出下ニ居源氏ヘ向居辨ヲ引ク〳〵近向ツゲ●光のとゝ玖を惟光ツギテル時扇ヒロゲ酒ウケル●辨ヲ引ク〳〵正ヘ直シナガラ立右ヘ静ニ扇タヽミナガラ右ヘクワロギ●おもてゐ(ゐ)なごらもユルリト後見ニ袖ナド直サセ正向序ノ舞●みをつ〳〵上ノ扇●光くりかいけゝ大左右切込ヒラキ●敷あ〳〵で正ヘ直ス●おるぎをつく〳〵(正ニシテ中ヘ行)源氏ノ方向下ニ居立●入沢の田鶴も扇マキ込ミマクノ方ヲ見●人目をつゝ慎ず源氏ヘ向下ニトクト居ナガラ扇タヽミ●おこぎとかれて正ヘ向ナガラ立右ヘトリ入ル

子方合舞ノ時　但シ合舞ノ時ハ二度メ二人静ノ通リ

●右ノ子方今瓜ト立小鍛ノ前ヘ行正ヘ向一樹ト謠出氏余左ノ子方ト同断

子方舞ヲヌク時

●今瓜ト立扇タヽズシテ柱ノキワヘ行正ヘ向一樹ト謠●皆色右ヘ足リ直ニ上ノ扇アト同断

シテワキシテツレ謠ロ爰ニ記ス

●ワキ是ハ接列侍右の●コレ光立衆強フ源氏ワラハ不強小車の●コレ光柳是ハ琴を見も●コレ光立衆強フ源氏ワラハ不強今日思ひ立嬉宛●源氏少〳〵ふこゝく●比日のなの柳の塩ひ●ワキ只今の仰ニ従ヒ●コレ光さゝらハ後ろと●ワキいてく後ろと●比さしゝゝとの●ワラハ一樹の陰も●比皆見比生の●ワラハ我ゝても久〳〵●比岸の波出●シテ其ツレ女二人恐ろしと目移ハなふ●比松出せ〳〵●シテ本強フツレ女ニテ強フテモヨシ松系の陰ことゝ●コレ光是の松ふ老ろ宏●シテ荒ものゝ●コレ光目ロ(ロ)ものも●シテ白髪の●比面ハ(ハ)ルも●シテ消えとゝ●源氏高き系●比宮ゝ(ゝ)ふふ●源氏ゆゝし琴の●比ゆえの阿ふせも●コレ光めのとゝ砂と●比碑ふ(ふ)ゝ〳〵●シテみをつゝ〳〵高ゝ●比光くりのひゝ●シテ敷あ〳〵て強反の●比入石の田鶴も

クニシテノ後ロヲ通リヌケワキ笠ヘ行シテ柱ノ方向是ヨリ又別クニナリテ舞フ

シテ舞附

都テ下ニ居ル時大ロナレモキナガシノ通リニマタヲスボメテスワル

●連一人先ニ立其次ニシテ其次ニツレ一人立一セイニテ出圖ノ通リ舟ニノリ正向謠フ●松かせ〜床机ニカヽル前ツレ下ニ居●松原の比処シテ謠フナレバ夫ナリニ謠フツレニ謠ハスレバ前ツレ立ウタフ●荒しつゝ〜やゝシ面ヲ下ゲ

シテ中ノ舞ニマフ時

●弁ヨリ〜立扇タヽミナガラシテ柱ノキワヘ行右ヘ廻リサシ廻レハかゝリ中ノ舞

●シテ一人ニテ中ノ舞舞フトキ初段ヲロシスミ源氏ノ前ヘ行トキ船弁慶ノ通リヲツレテアトヘ下ルニハアフズ拍子フムモカルクフム

●シテニテトメルワサ喜之田帝十帝中ル奏田舞所ニ有之

シテ源氏合舞

●舞シテ一人ニテモ舞フ又源氏ト合舞ニモスル二人静霍亀等ハ舞ノツナ二段ト四段トニ入ヤワリアレモ一通リノ合舞ハ入ヤワリナシニ別々ニ舞フ尤源氏弾ヨ〜〜ヨリ立ル数ノ前ヘ行ブタイノ左ノ方ニテ舞フシテハ右ノ方ニテ舞フ●源氏ハ舞ノアトハ廻リメ才をつくし上扇メ直ニ扇メニナカラ元ノ坐ヘ行床机ニヤル尤源氏シテトノ合舞序ノ舞ニモ破ヤリ中ノ舞ニモ序ノ舞ハヤリ共

又

●三段ニテ別々ニ舞イ三段目角ニテ扇左ヘトリシテハ常ノ通リシテ柱ノキハヘ行源氏ハ扇左ヘトリ左ヘ廻リ直ニシテ柱ノキハヲルシテノ後ロヨリ通リヌケシテノ右ヘ出左ノチシテノセ中ヲアテ二人同シ様ニヒラキ源氏袖カヅリ二人同シ様ニ右ヘ行直ニ正ヘ出足トメズニ左ヘ廻リシテハ中ニテシテ柱ノ方向源氏ハチヲハナシスグニシテノ後ロヲ通リヌケワキ坐ヘ行シテ柱ノ方向是ヨリ又別々ニナリテ舞フ

住吉詣

装束之覚

シテ　小面　髪袋　同帯　摺箔　上着唐織
ツヽヲリ　紅大口　腰帯　扇子
ツレ女二人同断　面　カツラ　同帯　箔　上着唐織
源氏　ウイ冠　子リ箔　直衣　指貫　腰帯
扇子
惟光　黒風折　着付厚板　単狩衣　袴　腰帯
扇子
外ニ男ツレ二人　右同断
ワラハ二人　着付箔　大口　長絹　腰帯　八ツ乙髪
扇子　八子元結

●作リ物ノ車湯谷ノ同断
●舟ノ作物江口ノ同断

連女ノ業

●一セイニテツレ段々ニ出橋懸ニテシキノツレ堂ノ間ヨリノリサキノ間ヘノル正アトノツレアトノ間ヘノリ棹持正めゐ〳〵ト謡ニ出ス●[illegible]乃〳〵ニアトノツレ棹ヲ出シ見チカケル●入ロハ舟[illegible]サキノツレシテ出タアトヨリヨリ●入ロハ舟ヒトサキノツレヨリルト跡ノツレ棹ステヨリ二人ニ後見座ヘ行面

下居●舟ヘ乗りしかるべきかシテノアトヘツキ入ル

舞附

一声前ニ舟橋掛リ出シ一声ニテ出先ノ連ドフノ向ヨリノリ先ノ向ヘノルシテ（ヤイシテヤ）ドフノ向ヘノル跡ノ連アトノリ揮モワシテ正面ヘ向ル

昭君の舟に乗り給ふ舟は舟橋あり

静かの浦にくらし上ゲ日　松ばかりの浦風

山の山おろしの　実に物凄き

秋ふ須磨の浦和もいつしかふ波の

右ウケ

名残もあり　て舟や　ヲ四正　舟橋入ル

舟の漕いさかうの雪乃　津国の浦ふ

正ノ二足出

なかるるの　上ヘシテ　松原の浦みそう

ありあ須磨の浦　花りみち波ちの浦

おとくあの色のきぬ　ツレヘ

ちりて　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

正　コレ光ニ光　月は都か光り　正

ふ　ふ　須磨の浦の　ふ

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

光ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ツレヘ

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　コレ光

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　二足ツヲル

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　上音　正

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ツレヘ

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　正面ナガラ面ヲ少心持　正

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

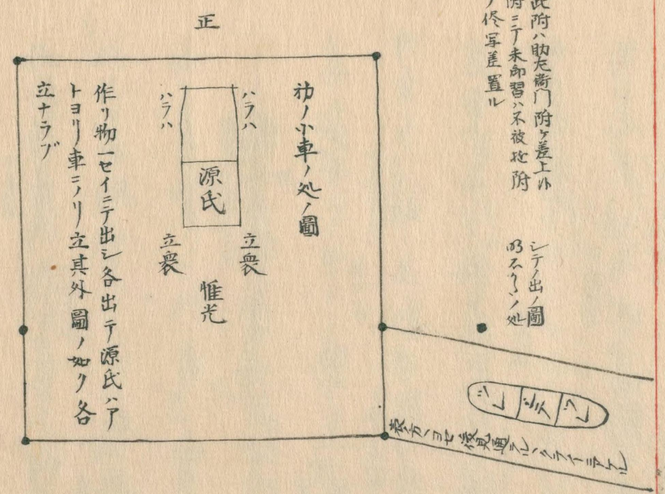
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

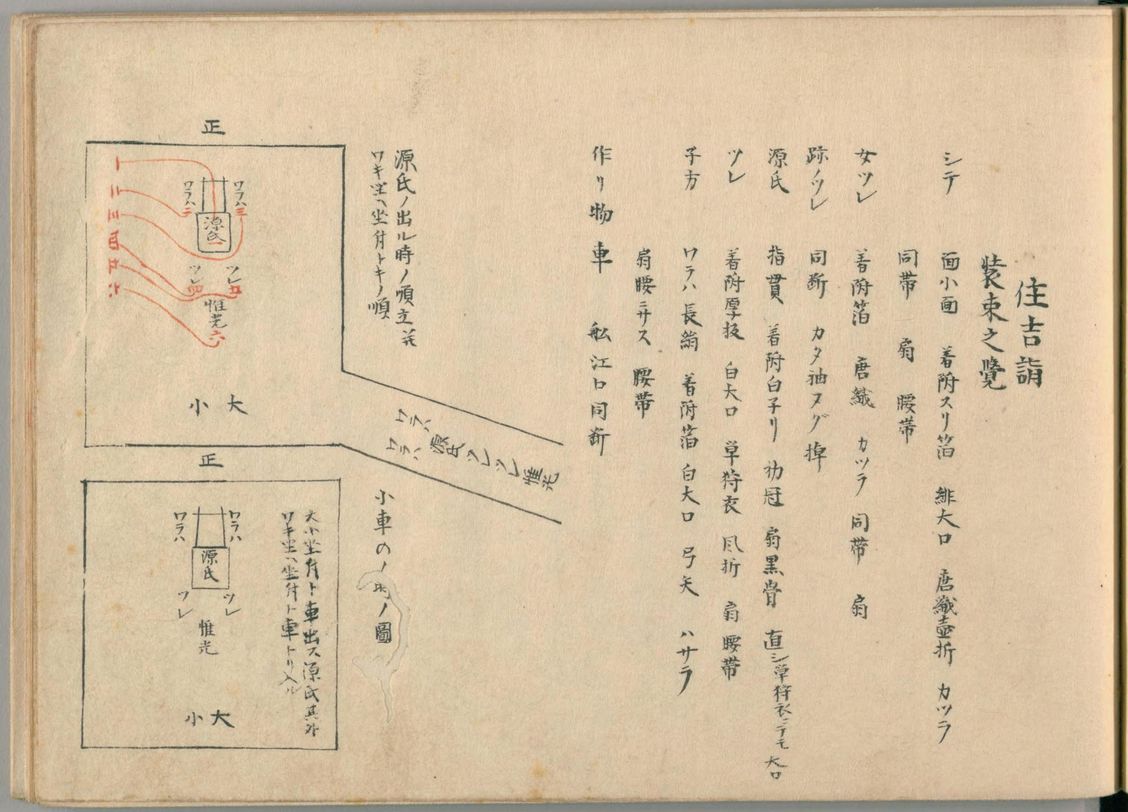
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1

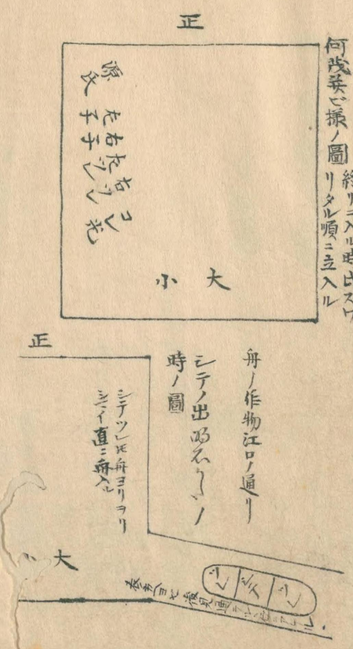
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用

何改英ヒ振ノ圖 終リニ入ル時ニスワリタル順ニ立入ル



惟光ノ附

●源氏ノアトヨリ出圖ノ如ク立英謡●浦和小あらしノカヘシニミナ一緒ニ地謡ノ前ニ下ニ居●思ひのゆ高砂トワキ謡イカケルトワキ〈向●扨云ふ和〈ものかな〉〈ト謡イ切リ身ヲ直ス●いよ〳〵仮のト源氏コチラ〈向時源氏〈向ジギヲメ求ヨ〈トワキ〈向●扨ハ〳〵ト正〈直シ●花和歌の〈ンヨリ立正〈二三足出シテ〈向●あたをさき左〈トリ元ノ坐〈行下ニ居●五ふり〳〵ノ〈ンヨリ翁ヒロゲ酒ヲ持タル様ニメ立ジカニ正〈出源氏ノ前ニ下ニ居立直シめのとトシテノ前〈行下ニ居ツグ●砕まひら〳〵シテノ立時ヲシテ直ニ元ノ坐〈行下ニ居●終リニ立返ミニ入ル

左ノ方ニ立ワラハノ附　扇前ニサス

源氏ノ先ニ立出圖ノ如ク立英ヒ●大江の巻ト左ノ手ニ弓矢一ツニ持下ニ居右ノヒザツキ左ニ持タル弓ヲ下〈ツキ立右ノ手ニテ車ノナガ〈ヲヲサ〈●源氏ヨリシテイ浦和まあらしノ返シヨリ車ノ後ロヨリミナ一緒ニ地謡ノ前〈行夫ナリニ一寸下ニ居立弓矢下ニヲキ扇持正向トクト下ニ居●切リニ源氏ノ立時ヲウシロ〈向弓矢初ノ通リ両方ニ持終リニ立段々ニ入ル

ツレノ附

●源氏ノアトニ立順ニ出圖ノ如ク立英ヒ謡●浦和小あらしノ返シヨリミナ一所ニ地謡ノ前〈行下ニ居●終リニ立返ミニ入ル

●ツレハ二人ニカギラズ四人ニテモヨシ

前ツレ女ノ附

●シテノ先ニ立一セイニテ出舟ノドウノ間ヨリノリ先ノ間ノリ正向●舟おせ〳〵トシテ床机ニカヽル時夫ナリニ下ニ居ル●惟小

下ニヲキ扇持正向トクト下ニ居●扨扇ヒロゲ酒持タル様ニメ立シツカニワキノ前〈行下ニ居ツグ●ゆ〳〵ト立シテ狂ノ方〈行ナカラ扇タヽミ正〈向一礼ト謡イ居先ト左〈廻リハガリ三段ノ〈イ三段ノ〈イヲシアリ●我又そも上ノ扇●巻のあめ松正〈ヒラキ●あ代乃代大左右ヲ広ヒラキ●いよ〳〵正一出ヒラキ●者ゆにトワキ坐ノ方ヨリサシ廻シハヤシ方ノ方ウケ直ニかの〈トヽクノ方〈雲ノ扇メ●浦よりおちの元ノ坐〈行下ニ居●切リニ源氏ノ立時ヲウシロ〈向弓矢初ノ通リ両方ニ持終リニ立段々ニ入ル　舞ニカル処子供ノ故シテヲイモ有之故両ツエトラズ

右ノ方ニ立ツワラハノ附　扇前ニサス

●源氏ノ先ニ立出圖ノ如ク立英ヒ●大江の巻ト右ノ手ニ弓矢一ツニ持下ニ居左ノヒザツキ右ニ持タル弓ヲ下〈ツキ立左ノ手ニテ車ノナガ〈ヲヲサ〈●源氏ヨリシテイ浦和に物〳〵もノ返シヨリミナ一所ニ地ノ前〈行夫ナリニ一寸下ニ居立弓矢下ニヲキ扇持正向トクト下ニ居●切リニ源氏ノ立時ヲウシロ〈向弓矢初ノ通リ両方ニ持終リニ立段々ニ入ル

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』 請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用

けリト謡スミ立テ松原のトウタフ比松原のノ謡ロシテ謡ヘハツレヽ訛夫ナリ居●玉たすき又下ニ居●熊野の方ヲシテヨリルトドウノ間ヘノリウツリ夫ヨリヨリ後見坐ノ前ニ正向下ニ居ル●ヨこぎとれれてシテ入ル時アトヘツキ入ル

アトツレ女ノ附

●シテノアトニ立一セイニテ出舟ノアトノ間ヘノルト後見狩ヲ持タス左ニ持正向謡●熊野のト狩ヲ一ス見狩ヘ右ノ手カケシテモ前ツレモヨリル夫ヨリ直ニ狩ステヨリ前ツレ（アトニ）後見坐ノ前正向下ニ居ル●ヨこぎとれれてシテ入ル時アトニツキ入ル

源氏ノ附

●義ちろうやシテ源氏ノ向ヲ足源氏ノ向ヲ足及

●一セイニテ出車ノアトヨリノリ圖ノ如ク立ナラビ小車のト謡出ス●音ちくて極吉の歌ヘヨリロキ坐ヘユキ床机ニカヽル正ウケ居●極でかれミナ地謡ノ前ヘユクト車入レル●和光同塵ハ立大小ノ前シヅカニユキ正ヘ向正先ヘ出下ニ居●疑クハ（通リニテ右ノ手ニテ）ヨリ礼ヲスル但シ礼ヲスル時左右ト少ク露ヲハライ礼ヲスル左右ノ通リニテ右ノ手ニテ露ヲハラウ共ヨシ返シニ立元ノ坐ヘユキ床机ニカヽル●いよ〳〵恨ひのコレ光ヘ●打黄ハ徒ハ正ヘ直ス●ふ〳〵きやちシテヘ忘れ草迄向ヲ●忘れ草正ヘ直ス●そのゝ〳〵ときシテヘ●おとゝもかゝり正ヘ直ス●互のかをシテヘ●をぢ（ヲ）ぶすし小立静ニウキ正面ヘ二三足出夫ヨリシテ柱ノキワヘ行●かの〳〵ト足トメ左足フミヒラキトクトシテノ入ルヲ見送リ正ヘ直シスグニヒラキ右ヲケトメ左袖カヘサズ

シテ舞附（都テ下ニ居ル時大ロナレ共キナガシノ通リニマメヲスボメテスワル）

●連一人先ニ立其次ニシテ其次ニツレ一人立一セイニテ出圖ノ通リ舟ニノリ正向謡フ●松かせ〳〵床机ニカヽル柔ツレ下ニ居●松原ハ比処シテ謡フナレバ夫ナリ謡フ連ニ謡ハスレバ前連立謡フ●荒ちつゝ〳〵やシ面ヲ下ゲ源氏ノ方ヘ向光ル表ト源氏ヲ見ル●玉たすき正ヘ直ス前連下ニ居ル●熊野の方ハ立舟胴ノ方ヨリ左ヘ廻リ舞ヲ型ヘ入リシテ柱ノキワニ立正●敷めを引く〳〵源氏ヘ向静ニ中ヘ出下ニ居源氏ヘ向居ル〳〵近向ヲケ●光のとゝ約を惟光ヲギニクル時扇ヒロゲ酒ウケル●所かゝ引ち〳〵正ヘ直シナガラ立右ヘ静ニ扇タヽミナガラ右ヘクロギ●おもてもかゝ〳〵ヒエルリト後見ニ袖ナド直サセ正向序ノ舞●みを〳〵上ノ扇●光〳〵ちいける大左右打込ヒラキ●殺からで正ヘ直ス●ちよみをつく〳〵中ヘ（正ヘヒラキテモヨシ）行源氏ノ方向下ニ居立●入江の因縁を扇巻コミ一ノ方ヲ見●人光をつ〳〵後ス源氏ヘ向下ニトクト居ナガラ扇タヽミ●ヨこぎとれれて向ナガラ立右ヘトリ入ル

子方合舞ノ時（但シ合舞ノ時ハ二度メ二人静ノ通リ）

●右ノ子方今ノ狩ト立小鼓ノ前ヘ行正ヘ向一樹ト謡出ス余左ノ子方ト同断

子方舞ヲ抜時

●今ノ狩ト立扇タヽズシテ柱ノキワヘ行正ヘ向一樹ト謡●皆光右ヘ足リ直ニ上ノ扇アト同断

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』　請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用

シテ中ノ舞ニ舞フ時

●所々ひろ〳〵立舟タミナガラシテ柱ノキワヘ行方ヘ廻リ

六

住吉詣

是ハ摂州住吉乃神主。菊薗の何
某かてハ。扨も此頃都ハ御ひてほま
き美びなすき光源氏。去頃我の子
細有て。當社乃系譜ニ作かれてい
樣ハ。社人共を召かし社頭をも清め
其心持をなすへき由ヲ申ふくめ
有ハ 小車の。はしへもつく
都路の。すくハ沒る。時代の物
柳是を。参まを世かもへ威光くも
らぬ。光源氏おておかしまに 毎
もはきみ歌をとりかし。住吉の神ハ
清新をこそ 毎日おなじ事議

シテ中ノ舞ニ舞フ時

●所ヨリ〳〵立角タミナガラシテ拄ノヤウヘ行右ヘ廻リ
サレヒシハガリ中ノマイ

●シテ一人ニテ中ノ舞舞フトキ初段ヲロシスミ源氏ノ前ヘ上ル
女慶ノ通リヲリシテアトヘ下ルニアラズ拍子フム尤カルベシフム

●シテニテトメルワザ是之由市ヲ市中ヒル矢田舞消ニ有之

シテ源氏合舞

●舞シテ一人ニテモ舞フ又源氏ト合舞ニモスル二人静鶴亀
ホハ舞ノウナニ段ト四段トニ入カワリアレ共一通リノ合舞ハ
入カワリナシニ別々ニ舞フ尤源氏碎ヨ云ウヒヨリ立
小鼓ノ前ヘ行フタイノ左ノ方ニテ舞フシテハ右ノ方ニテ
舞フ●源氏ハ舞ノアト小ヒリメ功をつくし上ノ扇並
ニ扇タヽミナカラ元ノ坐ヘ行床机ニカヽル尤源氏シテト合
舞序ノ舞ニモ破カリ中ノ舞ニモ序ノ舞ハカリ共

又

●三段ニテ別々ニ舞イ三段目角ニテ扇左ヘトリシテハ常ノ通
リシテ拄ノキハヘ行源氏ハ扇左ヘトリ左ヘ廻リ並ニシテ拄ノキ
ハニヲルシテノ後ロヨリ通リメケシテノ右ヘ出左ノ手シテノ
セ中ヘアテ二人同シ様ニヒラキ源氏袖カブリ二人同シ様ニ右ヨ
ケ直ニ正ヘ出足トメス二左ヘ廻リシテハ中ニテシテ拄ノ方向
源氏ハ手ヲハナシスグニシテノ後ロヨリ通リメケワキ坐ヘ
行シテ拄ノ方向是ヨリ又別々ニナリテ舞フ

シテワキシテツレ謡ロ爰ニ記ス

●ワキ是ハ摂列侯ヒの●コレ光立衆謡フ源氏ワラハ不謡
小車の●コレ光柳是ハ拳也●コレ光立衆謡フ源氏ワ
ラハ不謡ヘうロ忍立稚云●源氏ツメ〳〵ホニつく●地
日のゼの秋の摩ひい●ワキ只今の四系詞●コレ光さ
ハ花をと●ワキいてく花を●地さしうとの●ワラハ一
附の居●地居ヒ化せの●ワラハ我ワテも久〳〵●
地岸の振袖●シテ并ツレ女之ヨ石ウと月待うとふ●地
船出せ〳〵●シテ并謡フ乙女ニテ謡フテモヨシ松原の源
ニつりる●コレ光是ハ船ふ光る君●シテ義ヒ
や●コレ光月日ヒてのも●シテ白雲の●地玉ひも
き●シテ誰そとハ●源氏高ま系●地宮ひ原ア
●源氏ヒ〳〵ツの●地ヤそのひせも●コレ光めの
とひ的ふ●地醉ふ〳〵〳〵●シテみとつく〳〵●地色
ケ月ひ〳〵る●シテ敷ひて翠ひの●ゼ八ケ〳〵ロ
露も

二二一一一

衣。春き日数も白雪の。多賀の
恋つゝ秋の山。色見いとゝ都の月の
面影陽つる山嵐や。関戸の雨も。う
つりきゝ。いらハぬ月ハ。苔川。猪
名野。藻原分て。ゆくゝ。ゆんゝ。ゆ
きも日ゝ。ゆ。ゆ。ゆ

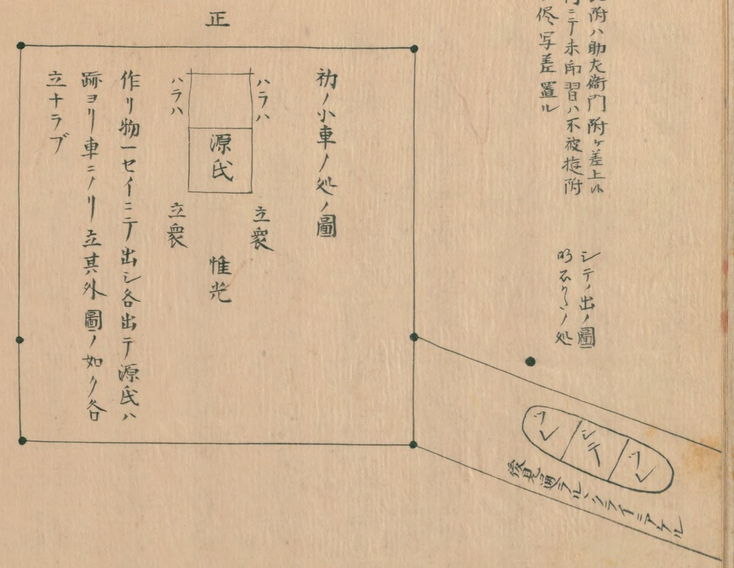
数の声こゑ。うたふ拍子の拍子。
いく久しかるべき。太平清和の世楽。
福寿無疆か。もちしつかるべき。
もくたつるこゑの有様。如意皆
令満足。音楽やう吉しき乃
御願かなへもすなく。さも
貴くさき沖津島のやう 袖更もかくや
と感ずいきもかめしいしるるやう。いとく
悦乃ひさうつさ。沖津島たひ乗
む。打義四位侍ふ河の乗乃ぎ如
乃ひまいこて。すより自りれる。
ひはまいしんまなか。お砌ふるもて
なくあの。今やらうえいこ

一樹の陰や。一河の流。皆是他生
の縁と云ふ。白梅ふを見かるる
ノ舞 ノ段 上 ふみくも。ひきしく初雪。住
吉の岸乃姫松。いく世経ぬら
ん。千代万世。舞の袂。
ひかめくるはちうつきの。貴船川流
沖津舟。ほのくかくる住吉の
浦ふおろ姫。ふかれ果
ぬき。神あかく。石ゐ自
然ゐ舟乃。波静かる。浦つ
ひ人。私せし。海の山姫宝尾
ぶ。関吹敷て竹琴か。演ナ
の浦和やいつしゐ跡の名残も

おしてるやゞ（ヤヤ二正）難波入江のよもすがら
る。海を渡るらん白雲の。海を渡
浦かつきかれ（正二足出）
の原みそ川なるあかつき。花も
みぢとちらせるとゝれる。色のき
ぬ〻く数こゝろ。のこりて面影
人新を。いつ〻なる人ぞ。
（正）是を旅ふ光る雲。
の敷もしかも。面影ものこいさ
らぬ。人もあるなるゆしきをよ
（ソレ）
（シテ）花たちかしや光る雲。きくより
胸あさきつゝいとあつもうは
の空ゆ（三足）月の秋のまゝの山。

（二足ツメル）白雲乃上を日。（正）
きゝ。かもとなきもとくをきゝ
おもひなこのらもなくゝふ。
（ソレ）
（ソレ）
（正）
（正）
（アトノソレサホニ右ノ手カケ）
（シテ左ニトリヨリブタイノ内ニ入リ）
（シテ柱ノキハニ立居）
（上ヨリ）
（シテ源氏ノ面）
（中ノ行）

のゝを早く位者の。序かおそ
ぶ革なら人や　ワキ　ワキ　ツレ　ツレ　ツレ



此附ハ助左衛門附ヶ差上ル
附ニテ未即習ハ不被指附
ノ候写差置ル

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』 請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』 請求記号 寄別5-6-2-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[観世流能附并舞附本]』 請求記号 寄別5-6-2-1

ガラス使用